

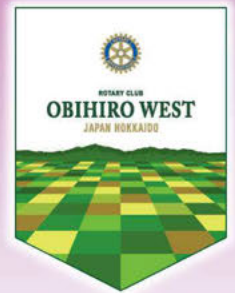


# 帯広西ロータリークラブ

## 第2409回例会

# 会報

### 2022.11.17



■RI第2500地区スローガン■

ともに紡ごう！  
ロータリーの未来へ

■クラブ・テーマ■

新たな半世紀に向かって…RESTART

**ゲスト紹介**

JICA北海道（帯広）道東業務担当

代表 木全 洋一郎 様

**会長報告**

高田 晃一 副会長

本日の例会は奥会長が九州出張の為、私が会長報告させていただきます。私も東京帰りだったのですが、今はもう会場の方ではアクリルの仕切り板が全部外された形で大体300人ぐらいの方でしたがそういう形で行われているのが現状でございます。帯広の地にもようやく初雪が先週の11月10日に降りました。2022年も残すところ40日数日になりました。先週例会で越智会員が結婚祝い、誕生日祝いのお話がありました。その中で11月22日は「いい夫婦の日」という話をされました。語呂合わせで記念日を制定された例であります。私は食品業界の仕事に携わっておりますが、業界でもかなり語呂合わせの記念日があり、1年中あるのではないかとというぐらい作られております。その中の例をいくつかお話しさせていただきます。11月29日は「いい肉の日」「いい河豚の日」、11月30日は「いい砂糖の日」3月10日は「砂糖の日」として記念日が制定されております。砂糖の優れた栄養価などを見直す日として制定されました。砂糖はどうしても悪玉に見られがちであります。日本国内での砂糖の消費量は5年前の消費量よりも20万トンも減少しおおよそ170万トン台に落ち込んでいます。以前私も正社員として食品関係の違う会社にいたんですけれども、その時にお客さんの方でコーヒーを出されても私どもの時代はブラックで飲んだりとかアメリカンで飲む傾向がありましたが、とにかくペットシュガーを混ぜなくていいから中に入れてしまって消費を促すという30年40年前でもそのような動きがありました。翌年の3月本別の北海道製糖本別製糖所が閉鎖されるということでピート糖の一貫で削減される動きになっております。農林水産省でも削減していく動きになっておりますので、十勝の業界にも色々な影響が出てくるんじゃないかと懸念されています。

もう一つスイートなお話しをしたいと思えます。毎月の15日はイチゴと読みますけれども、それが固定した形で下の方のカレンダーになると22日がショートケーキの日という、これは誰がつけたか分かりませんが、消費を促すような動きで選定された記念日が出てきております。思い起こせばクリスマスの時期はイチゴが高騰します。だいたいひと玉30円から大きく

なって100円ぐらいになることがあるので一度とんでもない事件が起こったんですね。日勝峠でまだ流通がトラック輸送の時にその物が全部横転してしまして、十勝中のケーキ屋さんがケーキで使うイチゴはだいたいMとかLで、このサイズだとだいたい1パックで27、8から30玉ぐらいですけれども、それをだいたい3000円、4000円という風に値段が動くことがあります。その物を手に入ることができないということで半分にして、写真掲載からお詫びで半分ずつにして渡して、それで供給したっていうお話も聞かれます。色んな形で制定日が記念日として出ておりますけれども、今日11月17日はボジョレーヌーボーの解禁日ですので皆さん今夜はコロナ感染には十分気をつけて楽しんでもらえればと思っております。

**会務報告**

森 房明 幹事

- ①帯広南RC、夜間例会開催のご案内  
日時 11月21日(月)午後6時30分  
場所 北海道ホテル
- ②帯広東RC、11月22日(火)の例会は、休会と致します。  
帯広RC、11月23日(水)の例会は、祝日のため休会と致します。  
帯広南RC、11月28日(月)の例会は、休会と致します。
- ③帯広西RC、夜間例会開催のご案内  
日時 11月24日(木)午後6時30分  
場所 北海道ホテル
- ④帯広北RC、夜間移動例会開催のご案内  
日時 11月25日(金)午後6時30分  
場所 ジグザグ

**委員会報告**

千葉 清秀 親睦活動委員長

来月12月8日の年末家族会について遅くなりましたが本日案内のFAXさせていただきます。締め切りは11月28日月曜日までになっておりますので大勢のご参加お待ちしております。ただ最近コロナの感染者増加で特に子どもたちの感染が多く見受けられますので今後の感染状況によりまして、参加対象者を限定する場合がありますことをご了承願います。不透明な部分がありますが今年度も会員のご家族皆様楽しんで頂けるように親睦活動委員会で企画しておりますのでどうぞご参加のほどよろしく願います。



会長 奥 敏則 副会長 高田 晃一 会場監督理事 長平 圭太 発行：広報委員会 (副)板倉 利幸  
幹事 森 房明 副会長 河西 智子 プログラム委員理事 菊池 俊博 委員長 河合 敏 (副)所 輝泉



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)  
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル東館3階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

## ニコニコ献金

植本 祥平 親睦活動委員

高田 晃一 会員

本日は1日会長を努めさせて頂きます。  
宜しくお願いします。

太田 豊 会員

本日は、担当例会です。宜しくお願い致します。

植本 祥平 会員

発表しましたのでニコニコさせて頂きます。



ニコニコ  
献金

11月17日

6,000円

累計

328,000円 (11月17日現在)

## ◆プログラム

太田 豊 国際奉仕委員長

## 「JICA北海道(帯広)の事業・施設紹介」



皆さんこんにちはは本日担当例会させていただきます国際奉仕委員会委員長の太田でございます。副委員長には金澤会員、上垣会員、大友会員、佐々木嘉晃会員の5名で活動して参ります。改めましてどうぞよろしくお願いいたします。かつての西クラブですけれどもモンゴルの支援を2006年から10年余にわたりまして行っておりました。それらの事業なんですけれども佐藤会長年度で終止符を打ちました。時の伊藤肇国際委員長が素晴らしい統括をされ今後のモンゴルとの関わりについての提言もその時されております。奥会長年度では50周年を終えてということでRESTARTの会長方針を受けて次へのステップということで西クラブが今後モンゴルのように新たに継続できる活動を提案してほしいというミッションを受けております。本年度国際奉仕委員会ではその新しいアプローチとしてJICAの事業の一つでもありました草の根技術力事業の一環で関わりを持った帯広タイチェーンマイ交流協会との連携をしながら活動できないかなということ今模索しているところであります。

今日は、例会は3回持っているんですけども第1回の例会ということでまずはそのきっかけを作って頂きましたJICA北海道帯広より今年の4月に就任されました木全代表にお越しいただきJICAの各事業においてのお話や本年度大規模解消された施設の内容についてお話を伺いたいということをお願いに上がったところ快く引き受けていただきました。当初はJICAの帯広のセンターに伺って移動例会ということを考えておったのですが、西クラブも大所帯になったのとコロナということで会食が伴いますので、もしセンターで感染があったらご迷惑をお掛けするという

こと、それとレストランもあるんですけども一般市民に開放されていることから、本来移動例会を考えていたんですが、こちらで来て頂いてのお話を伺うことになっております。海外からの研修員の受け入れもようやく先月から始まったようでありますし、レストランの営業も再開されましたので是非今日木全代表のお話を伺って、また皆さん是非その内容を確認という意味でもセンターに伺ってレストランで食事されたり、また新しく改修された施設をご覧になっていただきまして、見識を深めていただければと思います。

## JICA北海道(帯広)道東業務担当 代表 木全 洋一郎 様



ご紹介頂きましたJICA北海道銭湯帯広代表の木全と申します。こちらがセンターの外観になります。場所ですがお配りした資料のJICA海外協力隊と書いてある物の裏をご覧頂けるとJICA北海道帯広のご案内ということで帯広の森の中にあるのですが、QRコードで読み取っていただければ地図が出るようになってございます。隣が森の交流館という帯広市の施設と一体となっております。出来たのは1996年ということで昨年2021年に25周年を迎えたというところになっております。後で示しますが北海道では札幌と帯広にありまして、組織としては部署としてJICA北海道という形で全体の所長が札幌にいまして、次長が二人ということで次長クラスの私をご紹介いただきました

が、実際には帯広の代表を務めさせて頂いてるという状況です。何をやるかということで皆様ご存知な方も多いかと思いますが、途上国海外から研修生研修員を受け入れて帯広の農業であったり、そして自然環境保全とかを研修プログラムとして提供していくという事をやっております。それ以外にも太田委員長からもありました草の根の技術協力ということでNGOや商工会議所といったそれぞれの各種団体様に地域の利点を生かしながら途上国、商工会議所であればタイというところと繋がって協力をしていくということをこちらの方で進めさせて頂いてるというものが草の根技術協力、そして純粋な協力というよりも皆様方の中にもお考えくださってる方おられるかもしれませんが、ご自身の製品もしくはビジネスを海外でも展開したいということをお考え下さっている方々に中小企業ビジネス支援ということでサポートさせて頂く、特に海外でのビジネスに関わる基礎情報ですとか、もしくは案件化というものの調査をこちらでさせて頂いてるというものがああります。そして皆様方青年海外協力隊という言葉は聞かれたことがある方が多いと思うんですが、それもJICAの方でやってまして青年だけではなくてシニアの方も含めてボランティアという形で派遣をさせて頂いております。そして小中学校高校を中心に開発教育支援ということで途上国で一体どういうことが起こってるのかということをお伝えするとともに最近はSDGsということも言われていますので、それ自身、遠い海の向こうの話ではなくてこの十勝の地元でも自分事として取り組めることということで途上国海外の事情もお話ししながらこの帯広十勝でどんな取り組みができるのか、もしくは帯広十勝でどんな可能性があるのかということも子供たちに考えて頂く機会ということで開発教育支援をさせて頂いております。そして最近ここ3年ぐらい新たに初めて来たのですが、皆様方の企業様の中にも外国人の技能実習生を受け入れて下さっている方々多いかと思うんですけども、そういった方がこの帯広十勝で本当に満足して生活いただけるようなことそのための支援、もしくは実習生を受け入れる企業様もしくは地域の中での多文化共生、多文化理解と言ったところへの支援ということを最近JICAでもさせて頂いているというところがございます。こちらはJICAだけということの中々難しいので、自治体ですとか最近では入国管理庁もかなり熱心にプロモーションいただいているのでそういう所で連携して進んでいるという状況です。

基本的にはJICAはこの途上国の開発課題というのを解決するということがミッションではあるんですけども、最近では途上国の方々と交流もしくは接点を持って頂くことを通じて、この帯広十勝の活性化に何らかの形で貢献できないかということも合わせて考えてるということで、途上国の課題日本の地域の課題というものをセットで上手く取り

組んで両方ができればwin-winになっていくような仕組み作りというものが考えられたらというのが、特にこの国内拠点で考えてることです。今お話申し上げたようにそういった国内機関が北海道から沖縄までそれぞれございまして、それぞれやはり地域特性がありまして帯広の場合は先ほど申し上げた自然環境保全ですとか農業、畜産といったところが大きな特性になっています。例えば沖縄なんかを見ますと同じ自然環境でも熱帯林ですのでそういったところの特性であったり、九州だとか中部名古屋あたりでは物作りというところがまた特性だったりということで、それぞれの地域の特性を活かした形で研修もしくは協力を展開しているというところでございます。

太田委員長からもご紹介いただきましたが、この2年間そうは言ってもなかなか途上国から研修員が来れない状態が続いていました。そういう状況でセンターも寂しい状況だったんですが、逆に捉えてそういう時期にセンターも25年も経っていますので、老朽化してるところも含め改修をしてよりコロナ後になって時に皆様にお越しいただいて色々な学びができればということで改修を致しました。後でまたビデオをお見せしますが、いろんなことが学べる場ですとか、そしてレストランもこの10月から新たにオープンしております。昼も夜も一般開放していますのでこちらにメニューにあるような、これはご飯であったりとかグリーンカレーなんかもあったりしますのでそういったものを何かをちょっと今日は珍しいもの食べてみようかなと思ってくださる方はお気軽にお越しただいただければと思います。私自身がこういったものに慣れていませいもあって私の観点が正しいか分かりませんが、かなり日本人の舌に合うようにアレンジしています。そういった意味ではものすごく辛くて食べれないということはないと思います。

実際に先ほど申し上げたように10月から研修がスタートしました。帯広にある研修コース全てではないんですが大体半分ぐらいはオンラインだったということもあるのでそういった意味でも半分ぐらいのコースがなんとか来日型で、半分ぐらいは引き続きオンラインで提供するという形になっています。その来日型が10月から始まり、こうしてNHKや十勝毎日新聞でも取り上げていただきました。今こうやってコロナも流行っていても日本以外の海外はほとんど普段からマスクもしていないという状況の中、大丈夫かという風なご心配もあろうかと思っておりますのでその点は、看護師資格のある健康管理を常時配置し嘱託公務員の方にも改めてお願いをし、帯広市とも提携、保健所とも連携しながら最善の策を今取っているというところで、一ヶ月弱ですけれども今のところまだ陽性者が出ていないということになっています。どうしても我々日本人も海外の人も含めて今コロナになってしまったら犯罪人みたいな感じがありますが、もう誰もがあっちゃんというところもあるので、そうなっても大丈夫なような策をどうするかと考えているところです。この2年間なかなか来日型の研修ができなかったので直接視察に行くということができなかったのですが、であればそこを逆手に捉えてこの道東そして十勝の開発の経験というものをしっかり映像にまとめて提供できるようにしようということで、これは短期の研修コースだけじゃなくて帯広畜産大学などに留学に来られてる方にもうまく提供しよう、こういった発展プロセスを映像化したということで、十勝農業リーダーの系譜はJA有塚組合長直々に監修頂いて作ったものであります。有塚組合長ご自身のお言葉から今まで帯広十勝にこういう風にもまいったものがなかった、良いものができたという風におっしゃってくださりました。これはYouTubeで見れますのでアクセスいただければと思っております。以上が研修ですけれども、草の根技術協力今こちらの太字にあるようなところを色々実施しています。太田委員長からありますが、帯広商工会議所には元々タイとマレーシアそして今は2019年からはマレーシアに絞って十勝フードバレーをもじってマレーシアにはケダ州という地域があるんですがケダフードバレーというものを推進すべく十勝フードバレーとマレーシアとの交流のプロジェクトを今実施しているということで、これは商工会議所もしくは市役所だけではなくてそれを通じて十勝の企業の皆様方にも入っていただいてマレーシアでビジネス展開するようなマッチングなんかをできればと思っています。ご存知の通りマレーシアというのはのイスラム教ですのでハラールというお祈りをして捌いた食べ物があるので同じ食品産業の方でもそういった認証を取って頂くことによってこういった所で展開がしやすくなるということでの橋渡しとか、逆に実はマレーシアの方も帯広に進出したいという風に考えて下さっているその食べ物を持っていくにはやはり食品衛生がしっかりしなければいけないよねということで、その食品衛生基準なんかをお伝えすると、こういった総合情報提供の仕組みを今やっているとところでございます。2019年からマレーシアですけれどもその前の年まで実はタイと帯広商工会議所、JICAの草の根技術協力ということで協力をいただきました。同じようにタイと十勝お互いの企業が進出し産業交流できるようにと行ってきたのですが、タイのプロジェクトは終わったのですが、今年の5月に商工会議所100周年ということを記念してチェンマイの工業連盟と連携協定を結んだので、これはJICAの協力は終わった後地域の皆様方がタイの地域の方々と一緒になってこういう協定を結んで頂いたのは、最初の橋渡しをさせて頂いたJICAとしても非常に嬉しい出来事でございます、JICAの本部含めて喜んでいらっしゃると思います。その草の根技術協力とは別に今度企業の皆様方がビジネス展開をするということで色々な橋渡しもさせて頂いています。かなり有名なのは東洋農機様が自走式じゃがいも収穫機、トラクターですがこれをなんとかインドの方でも普及させたいということでその案件化調査を8年ぐらい前になりますがやっていたことと、今現在はタナベ様がエチオピアで可燃廃棄物を代替燃料として使って、何とかゴミを減らしていきましょうというような取り組みをしていただいています。上の写真が東洋農機様のじゃがいも収穫機で、下はエチオピアですが、このようにほとんど埋め立てではなく、投げ捨ててるだけという状況の中で非常に衛生状態もよろしくないこともあって、なんとかゴミを減らしていくためにいくつか資源になるものを代替燃料としてやっていけないかという調査をしていたというところなんです。あと実は11月1日から12月12日まで今現在まさに青年ボランティア海外協力隊の募集をさせて頂いています。ボランティアも2019年のコロナ以降2020年21年ということで派遣が出来ませんでした。その上かつその時現在で海外にいらっしゃる方も全員帰国退避で完全に止まっていたのですが、2021年度の後半ぐらいから少しずつ派遣し始めていて、コロナで戻ってきた人が2000人ぐらいだったんですが今600から700ぐらい戻ってきた形です。そして今回空き募集に300人のポストがありますので全部合格してポストが埋まれば2000よりもちょっと少ないぐらいになっていくかなという形になっています。実はあまりJICAもPRが下手で十分皆様にお知らせできてないんですけれど、実は今JICA海外協力隊という風に読んでます。細かい括りで青年海外協力隊という言葉も残っているんですが20歳から69歳までつまり青年でなくても応募ができるという形にさせて頂いています。本日このちょっと硬いボール紙みたいな冊子をお配りさせて頂きました。これはプレゼントという雑誌と提携をしてアナウンサーの草野満代さんに出していただいて、こうしたセカンドキャリアとしてボランティアというものが考えられないかと今本当に皆様方もそうですけど60歳超えても元気な方、現役の方はほとんどそういう方々でございますので、もちろん会社の企業様の役員として活躍頂くことももちろんですが、それだけではない形で皆様もしくは皆様の方の中の方で引き続き何かやりたいんだという方にこういったボランティアというものチャンスもあるんだということをご案内頂けるとありがたいなと思っております。職種も100以上ありますので、私でできることなんかないんじゃないかと思わずに、まずはホームページをご覧いただいて面白そうだというものがあれば是非ご検討いただきたいと思いますと思っております。広報活動も色々させて頂いておりまして、今岡書のイーストモール店の方では入口入ったところにこのJICA海外協力隊ですとか、もしくは世界のいろいろなお店の状況

だとかファッションなどのものを展示させて頂いています。またFM-JAGAの方でも番組を持たせて頂いてますし、何人かご購入頂いた方もいるかもしれませんが畜産牛乳を手にとり頂くと、裏を見るとJICAのロゴマークがあって帯広畜産大学とJICAがパラグアイで連携事業してるということもさりげなく宣伝をさせて頂いております。

今日もう一つアフリカのマサイがジャンプしてる写真が写っている紙がありますが、これはまさに今度の日曜日から中札内の道の駅のそばにある有名な人気のお蕎麦屋さんありますけどもそこのお蕎麦屋さんでアフリカの写真展ということで青年海外協力隊に行き帰ってきたOGの方、女性の方はお二人がケニアやザンビアというアフリカのところで撮ってきた生活の写真、人々の笑顔の写真として活動の写真をパネルにして展示をさせて頂いてますので、20日と22日か26日にやっておりまして、23日勤労感謝の日では実際にちょっとしたコーヒータグズのプレゼントというものもございましてもしよろしければ覗いて頂ければと思っております。あとはJICA先ほども申し上げましたけれど最近では外国人材技能実習生を始め外国人材の支援、もしくはそれを受け入れてくださっている地域の方々の多文化理解の促進ということをさせて頂きます。こちら十勝ではなく釧路管内なんですけれども、例えばこういう取り組みということでこちらの方では酪農家さんで技能実習生を受け入れてる方が多くて、青年海外協力隊で帰ってきて標茶町で酪農されてる方がベトナムの技能実習生を受け入れて頑張っているその姿を映像にさせて頂いてJICAの方にも載せて頂いているんですけど、標茶町の方の地域起しのYouTubeチャンネルの方にも出させていただいたということがあります。こういった形で色々受け入れてくださるところの発信ということもさせて頂いておりますし、イベント等でまさにこういった外国人材を受け入れて直接対面型のイベントもしくはオンラインのサロンという形をさせて頂くということもあります。今日チラシがまだ間に合っていないんですが2月11日建国記念の日ですけれどもJICA帯広の方で国際協力フェスタというものを実施させていただきます。その中で入国管理局、十勝の場合は釧路港出張所が管轄なのでその方がお越しいたいて、その中で外国人材向けの生活相談ということもブースとして設けさせて頂いておりますので、もし皆様方の会社の中で技能実習生がおられる場合はご案内頂けると大変ありがたいかなという風に思っております。

最後、ロータリークラブ様は色々な所で寄付等もいただいているということで、実はJICAもほとんど知られていないんですが寄付金というものを受け付けはさせて頂いております。ただし寄付頂いた物を寄付した方が自由に使えるわけではなくて、教育・保健といったようなところの分野でいろんなNGOもしくは公益法人の方に資金としてお渡しさせて頂いて活動していただいているという様なものになっていますので、もしこういったところで何か貢献できないかということでJICAの方ということであればこういったものもありますのでご相談いただければと思います。以上となりますが、館内施設は基本的には研修員が宿泊する所という認識にはなっておりますが、空いている限りでは皆様方のご利用もぜひ頂ければと思います。旅行に来ただけでということでは宿泊できないのですが、会議をするとか国際に結びつけて頂ければ宿泊も含めてご利用いただけます、まずは見学したいという事であれば大歓迎ですのでお待ちしております。



### JICA北海道センター(帯広) 事業概要

2022年11月 独立行政法人国際協力機構(JICA) 北海道センター(帯広)

2006年 JICA北海道センター(帯広) 開設  
2007年 JICA帯広畜産大学連携協力施設開館  
2017年 道庁と連携し「帯広国際交流センター」(仮称)の設置が決定  
2022年 北海道センター(帯広) 新築、移転完成

【(札幌) 人員体制 34名】  
次長(総務・情報・市民参加部) 部長(国際協力部) 副部長(国際協力部) 国際協力部員 市民参加部員

【(帯広) 人員体制 24名】  
次長(産業振興部員) 一帯広代表 産業振興部員

施設 敷地面積 4,295㎡ 敷設延長 98m  
建設費総額 13.52億(2021年度)

施設 敷地面積 9,790㎡ 敷設延長 98m  
建設費総額 3.192億(2021年度)

### JICA国内機関の事業と役割

地方自治体への貢献

JICAの役割

JICAの役割

地方自治体への貢献

地方自治体への貢献

地方自治体への貢献

### 道東地域の発展のプロセスを映像化

道東地域の発展のプロセスを映像化

道東地域の発展のプロセスを映像化

道東地域の発展のプロセスを映像化

道東地域の発展のプロセスを映像化

### JICA 草の根技術協力(実施中/実施予定)

実施地	実施期間	実施内容	実施状況
モリツ	2022.10	...	...
...	...	...	...

### JICA センター施設全面改修

センター施設全面改修

センター施設全面改修

センター施設全面改修

### JICA 2022.10より来日型研修も再開

2022.10より来日型研修も再開

2022.10より来日型研修も再開

2022.10より来日型研修も再開

### JICA 草の根協力の縁で地域間協力協定へ

草の根協力の縁で地域間協力協定へ

草の根協力の縁で地域間協力協定へ

草の根協力の縁で地域間協力協定へ

### JICA ボランティア事業

ボランティア事業

ボランティア事業

ボランティア事業

### JICA 中小企業・SDGsビジネス支援事業

中小企業・SDGsビジネス支援事業

中小企業・SDGsビジネス支援事業

中小企業・SDGsビジネス支援事業

### JICA 外国人材支援・多文化共生

外国人材支援・多文化共生

外国人材支援・多文化共生

外国人材支援・多文化共生

### JICA 外国人材支援・多文化共生

外国人材支援・多文化共生

外国人材支援・多文化共生

外国人材支援・多文化共生

### JICA パーチャルツアーへ

パーチャルツアーへ

パーチャルツアーへ

パーチャルツアーへ

### JICA 広報

広報

広報

広報

### JICA 外国人材支援・多文化共生

外国人材支援・多文化共生

外国人材支援・多文化共生

外国人材支援・多文化共生

### JICA 外国人材支援・多文化共生

外国人材支援・多文化共生

外国人材支援・多文化共生

外国人材支援・多文化共生

### JICA パーチャルツアーへ

パーチャルツアーへ

パーチャルツアーへ

パーチャルツアーへ